

長崎県のグローバル人材育成

長 崎 県

(1) 国際社会で活躍できる人材の育成(長崎県)

小・中・高連携による国際化に対応した教育の推進

区分	取組	
小学校	①小・中・高を通じての外国語教育強化 (小学校低学年からの英語活動の実施(2013年～))	
中学校	①小・中・高を通じての外国語教育強化(語学学習システム等の開発・活用(2013年～))	①小・中・高を通じての外国語教育強化(英語指導法の研究・開発など(2013年～))
高等学校	②外国語によるコミュニケーション能力を伸ばす実践的な機会の提供(2012年～) <ul style="list-style-type: none"> ○上海進出県内企業等への訪問研修 ○観光地(ハウステンボスなど)における外国人観光客の接客等 ○英語のみを使用した宿泊研修 	
	①小・中・高を通じての外国語教育強化 (国際科高等学校の設置準備(2013年～))	③中国・韓国での生徒の短期語学研修 (2005年(中国)・2012年(韓国)～) ④対馬高校を中心とした韓国語教育 壱岐高校を中心とした中国語教育 (2003年～)





長崎県における特色ある教育活動を通じた自らの個性と能力の伸長

国際社会で幅広く活躍できる人材の育成

(2) 国際社会で活躍できる人材の育成(長崎県)

国際化に対応した人材育成の推進

区分	取組
中学校	⑤海外の国際機関への訪問や現地青少年との交流(2012年～) 
高等学校	⑥海外留学説明会の開催、高校生・大学生への奨学金の支給 (2011年～) 
大学等	
社会人	⑦日韓交流フォーラム・日韓未来塾の開催 (2013年～)

国際的視野、異文化に対する理解力、主体的なコミュニケーション力などの身につける

国際社会で幅広く活躍できる人材の育成

① 小・中・高を通じての外国語教育強化

事業概要

小中高を通じた外国語教育の充実を図り、これからの国際社会で活躍する資質と能力を身につけた郷土の未来を切り拓く人材を育成

小学校低学年からの英語活動の実施、語学学習システム等の開発・活用

小学校低学年からの英語活動の実施



◆低学年から英語に慣れ親しむ機会を増やす

- 小学校低学年から、子どもたちが英語に親しむ機会を促進
- ・(市町)教育課程特例校を申請(2013～)
- (例)小学校1年生から英語活動開始(現行小学校5年生から)、小学校5年生から中学校の英語教育を先行実施

語学学習システム等の開発・活用



◆子どもたちの日々の語学勉強の目標となる機会を提供し、英語でコミュニケーションを図るための基礎力を身につけさせる。

- 中学生を対象とした英単語・表現ソフトを開発
- ・インターネット配信による誰でもいつでも使えるソフト
- ・音声及び本県を話題にした例文書付き

国際科高等学校の設置準備、英語指導法の研究・開発など

国際科高等学校の設置準備

- 大学進学を目指す進学校に、本県初の国際科を設置
- 先進的な取組により、県内普通科高等学校の外国語教育のモデル校とする。
- 卒業後は難関大や外語大等を目指すとともに、県内大学等への進路保証を進める。
- ・リーフレット作成・配布、各地区説明会
- ・CALL教室整備(外国語学習用システム)



英語指導法の研究・開発など

- 英語教員海外研修事業
- ・米英の大学に2ヶ月間派遣(単年度3名⇒5年間15名派遣)
- 中国語・韓国語教員養成事業
- ・中韓の大学に1年間派遣(単年度2名⇒5年間10名派遣)

語学学習システム等の開発・活用

- 長崎県を紹介する英語教材のインターネット配信
- ・英語で長崎県の紹介ができる生徒の育成



②外国語によるコミュニケーション能力を伸ばす実践的な機会の提供

事業の目的

○就職を希望する生徒を対象として、外国語コミュニケーション能力の向上や語学を活かした職業への意識向上を図るなど本県独自の国際人材育成を推進

事業の概要

上海進出県内企業等への訪問研修

- ★本県企業への訪問研修（実地、講話）
- ★現地学生との交流



観光地における外国人観光客等の接客等

- ★ハウステンボスなどで、外国人観光客への接客業務等を中国語、韓国語を活用して体験



英語のみを使用した宿泊研修

- ★英語漬け研修、生活文化習慣の学習



「実践力」、「現場のリアル感」を意識したうえで、本県が持つ独自性を活かした研修内容

海外でのビジネス現場を体感

県内企業とのコラボレーション

コミュニケーション能力の実践力養成

就職意識、職業観の醸成

語学を活かした就職先の認知(県内企業)

郷土を担う国際社会で活躍できる人材の育成 + 県内就職への契機

③ 韓国での高校生の短期語学研修

【事業概要】

釜山市内の大学校において韓国語研修を実施することで、
将来の東アジア友好交流の担い手育成の拡充を図る

東アジア友好交流の
担い手育成

【事業対象】韓国語を学ぶ県内の高校生30名程度

【事業期間】夏季休業期間中の約2週間研修

【研修場所】釜山外国語大学校ほか

【研修内容】釜山外国語大学校での少人数授業

日本語学部学生との交流

釜山市内の大学校等訪問 など

韓国語を学んでいる生徒に対する
研修の機会の提供

韓国語開設校 6校
・対馬高校国際文化交流コース、
・総合学科設置校

⑤海外の国際機関への訪問や現地青少年との交流

事業の目的

国際的視野及び語学力等を備えた国際社会で活躍できる長崎の人材を育てるため、県内の中学生を海外へ派遣する。

【派遣概要】

日時：平成25年7月29日(月)～8月8日(木)
派遣者：県内の中学2年 12名(男子4名、女子8名)
派遣先：スイス(ジュネーブ)
フランス(パリ)
イギリス(ロンドン・メドウェイ)
訪問先：国際連合欧州本部(UNOG)
ジュネーブ国際機関法人職員会
世界保健機構(WHO)
経済協力開発機構(OECD)
ルーブル美術館
大英博物館 など



現地青少年交流



国際機関職員との意見交換



世界保健機構 訪問

⑦日韓交流フォーラム・日韓未来塾の開催

事業の目的

「一緒に創り上げていくこれからの日韓交流」をテーマに、日韓の文化的側面や両国の若者の相互理解、及びそのために果たすべき民間交流・地域間交流の役割について議論を深め、今後の日韓交流の発展に貢献できる人材の育成を図る。

日韓交流フォーラム

日 時:10月5日(土)
14時～17時

参加者:約300人
(大学生、交流団体ほか
一般県民)

内 容:

【基調講演】

(俳優)

黒田福美氏

(釜慶大学校教授)

朴 花珍氏

【パネルディスカッション】

知事ほか、県内外の
有識者



日韓交流フォーラム
(10月5日)



俳優の黒田福美氏、釜慶大学校
の朴花珍教授が基調講演

日韓未来塾2013

期 間:10月5日(土)～
10月8日(火)

参加者:日韓両国の若者46人
・日本人25名
・韓国人21名(含 留学生)

内 容:

○グループ討議

○日韓交流ゆかりの地視察

・雨森芳洲の墓

・対馬歴史民俗資料館
等

○そば打ち体験



グループ討議の様子
(10月6～7日)



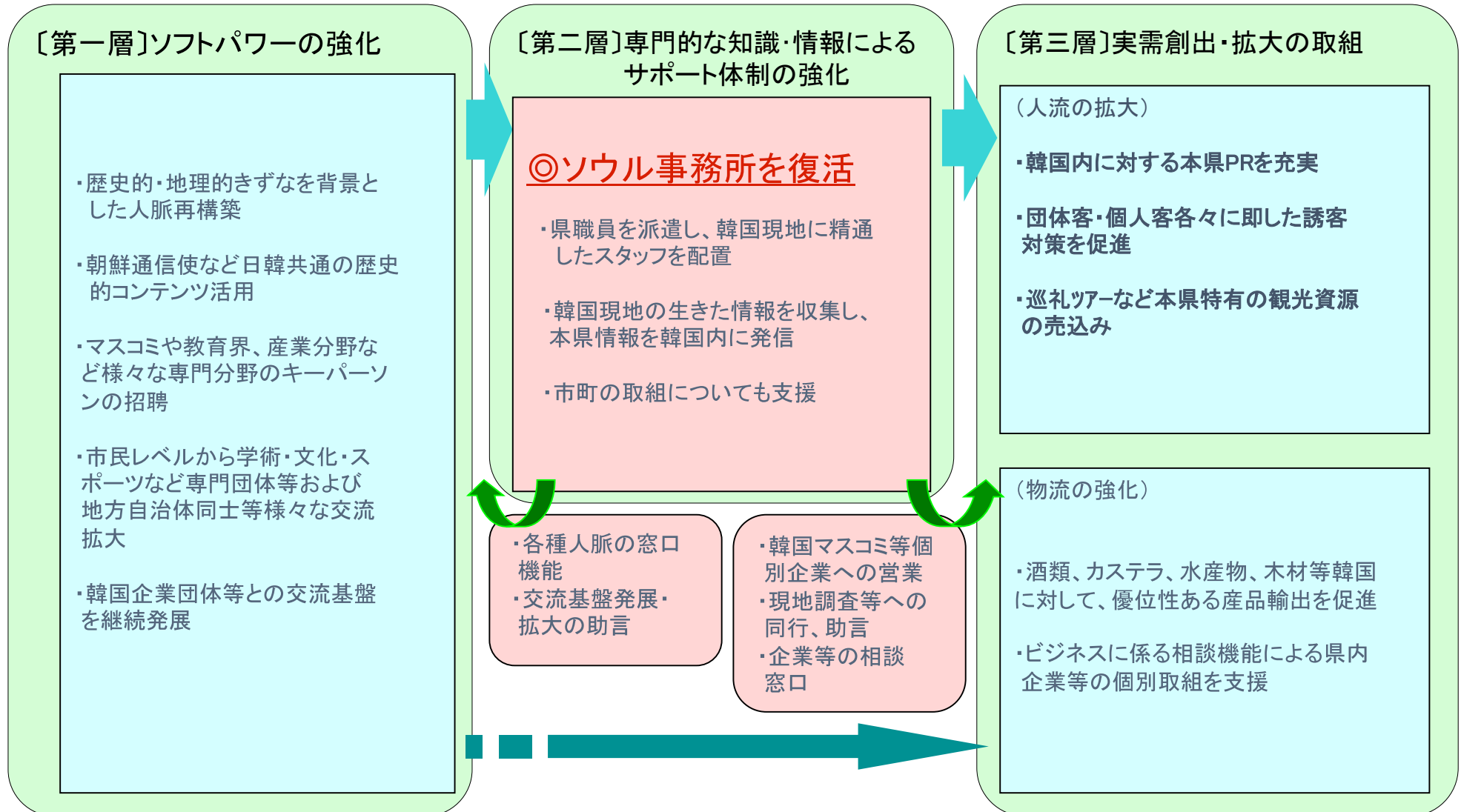
そば打ち体験等で親睦を深める。
(10月7日)

ソウル事務所の復活と韓国に 対する取組み

長 崎 県

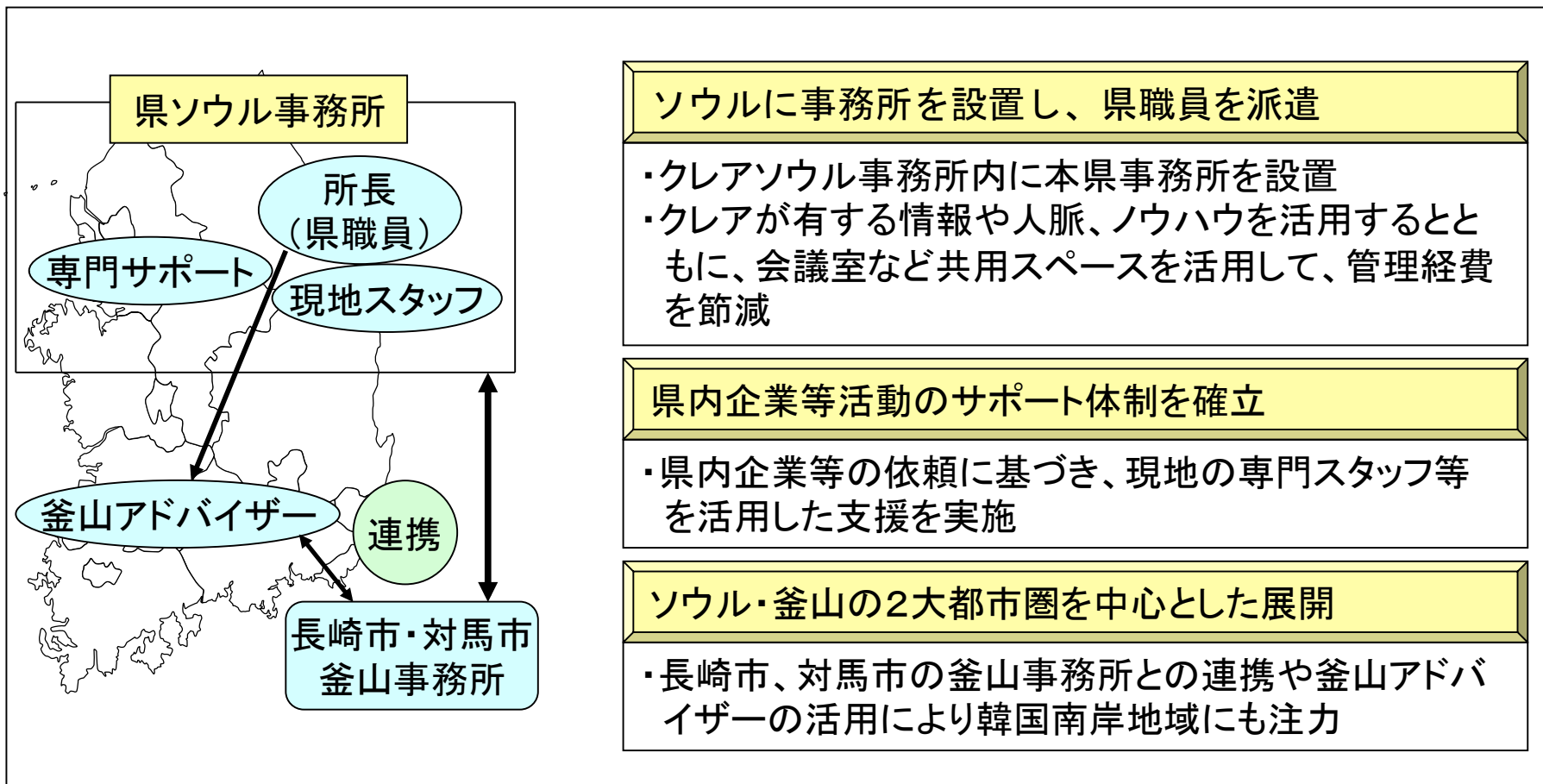
長崎県のアジア・国際戦略（韓国）

●韓国戦略の要点は、第二層であるサポート体制を整備することにより、ソフトパワー（第一層）を更に強化し、実需創出・拡大の取組を着実に推進（第三層）していくことである。



ソウル事務所の復活

○県ソウル事務所を10年ぶりに復活させ、人脈の再構築や本県の認知度向上、誘客の促進、県産品の販路拡大など韓国の活力を取り込むための取組を推進



韓国に対する主な取組例

ソウル事務所機能を最大限発揮

目指すもの

I 歴史・文化を活かした交流

- ・「対馬藩と朝鮮通信使展」の開催(長崎歴史文化博物館)

II 人的ネットワークの構築

- ・ハンナ(韓長)会等本県ゆかりの団体との関係強化

III 未来を担う人材育成

- ・日韓交流の発展に貢献できる両国の青少年を育成

IV 韓国向け情報発信

- ・韓国パブリシティ(現地PR会社を活用したメディアへの情報発信)

V 県内観光地へのアクセス改善

- ・ジンエアーの利用促進

VI 九州各県・県内市町及び旅行会社等との連携による誘客促進

- ・巡礼ツアー等テーマ性に応じて集客効果が高い分野に特化した誘客対策
- ・対馬釜山航路利用促進、対馬における韓国人観光客の消費促進等

VII 県産品の輸出促進

- ・釜山～長崎コンテナ航路3便化による物流の掘り起こし
- ・韓国の流通企業と連携し各種販売促進プロモーションを展開

【交流基盤の深化】

- ◎日韓交流における特別の地「ながさき」づくりの推進

【人流の拡大】

- ◎「旅行先」としての認知度向上
- ◎経済波及効果を高める誘客促進

【物流の強化】

- ◎現地ニーズに合わせて本県の強みを活かした県産品等の輸出

ご清聴ありがとうございました